

Happy Wedding!

庄川温泉郷新聞



第7号
 発行：庄川峡観光協同組合
 砺波市庄川町金屋1550
 電話 0763-82-5696
 F A X 0763-82-4213
 shogawakyou.com



「鯉恋の宮」で初の挙式
 「庄川峡桜まつり」最終日、4月12日の日曜日。庄川水記念公園内で初めてとなる結婚式が「鯉恋の宮」で「人前結婚式」として執り行われました。親族やご友人、そして花見で公園に来ていた来場者も一緒に、二人の門出を祝いました。宮内で誓いの言葉を述べ、指輪の交換、結婚証明書にサインをして出てきた二人には、「とみなみ元氣道場」のみなさんが用意した約二千枚の赤やピンク黄色などのチューリップの花びらによる、フラワースhowerで二人を祝福しました。



第5回 「庄川峡桜まつり」開催
 今年は比較的寒い日が続いた中、4月4日から12日まで開催されました。「がらぼん抽選会」や「ちんどんさんとぞぞろ歩き」「ライブウッド」などなど。おなじみのイベントが開催され中でも「ちんどんさんとぞぞろ」は、うれしいことに予定よりも参加者が多く、用意した参加賞が足りなくなる場面も。
 また今年は、夜のライトアップにも力を入れてみました。ピンクのぼんぼりや、LEDでのライトアップ。「鯉恋の宮」参道にはチューブライトで足元を照らすなど。また、桜まつりの期間が終了しても花の見頃が続いたので、ライトアップもさらに延長して行いました。
 4日と11日の土曜の夜には「夜桜day」として、ふれあいプラザ内で、あったかいコーヒーや甘酒などの販売も行いました。特に夜は寒いので、ストーブのある館内でコーヒーを飲みながらの夜桜見物は格別。
 今年もたくさんのお客様に来園いただき、ありがとうございました。

金屋石コーナー新設

庄川水記念公園内のふれあいプラザに金屋石展示コーナーを新設しました。石管や石を切り出す際に使用していた道具が展示されています。歴史や特徴を説明したリーフレットや庄川町に点在する金屋石でできた石仏や石碑などを紹介した散策マップを配布しています。

今後の計画としては、観光ガイドを養成し、庄川町内で金屋石ツアーを行うことを検討しています。



鮎シーズン到来!

今年も庄川鮎の解禁が間近となりました。それに先駆けて鮎料理の専門店が営業を開始しています。「庄川鮎」は県内のみならず、県外からも多くの方がいらつしやいます。土日になれば2〜3時間待ちは当たり前です。

また鮎料理専門店だけでなく、鮎シーズンを迎えると庄川温泉郷の旅館でも食材として使われています。

「庄川鮎」の魅力はなんといっても、実が小ぶりで、頭から丸ごと食べられることです。炭火で丁寧にじっくりと焼き上げた鮎は絶品です。是非「庄川鮎」を食べにいらしてください。

鮎の庄(人肌の宿川金)

(0763) 82-0257

定休日: 第2、4木曜日

鮎の里

(0763) 82-7110

定休日: 無休(臨時休業あり)

ふなの里

(0763) 82-5009

定休日: 毎週火曜日



地域活性化団体紹介

庄川温泉郷で活躍される地域活性化団体を紹介いたします。庄川町在住の20〜30代女性で結成されている「エメポロ」をご紹介します。

代表を務めていらつしやる脇本愛美さんからエメポロについてお話を伺いました。

私達は、庄川町商工会青年部の妻のグループです。夫婦愛、家族愛、そして地域愛の三本柱が活動理念です。

エメポロとは、エメラルドグリーンのポロシャツの略です。なぜ、エメラルドグリーンなのか?それは、庄川の観光資源である、大仏や庄川峡、そして金屋石に由来します。そんなエメラルドグリーンを身に纏い、庄川の素晴らしさ、人の素朴さ、温かさをお伝えしていきます。

また沖縄県本部町には姉妹プロジェクトのピンクトップがあります。美ら海水族館がある一大観光スポット本部町の「ピンクトップ」との交流を通じて、庄川町も日本中、いや世界へと発信していけると確信しております。

女性独自の視点を持ち、また地域で仕事をさせていただいている感謝を忘れず、地域の皆様と楽しく庄川町を発信していきますので、よろしく願いたします。エメポロの今後の活躍に期待しております。



「エメポロ」のみなさん

今後も庄川町で活躍されている地域活性化団体をご紹介しますので、ご期待ください。

柴田さん全国第3位受賞

3月3日に東京で開催された「農業青年会議 全国大会」において組合員である柴田泰利さん(泰栄農研)が第3位に選ばれました。

庄川温泉郷新聞でも何度か取り上げている「庄川温泉野菜」の取り組みについて発表されました。

現在、庄川温泉郷の旅館で食材として使用されています。今後は加工品の販売や収穫体験などを検討しています。



編集後記

桜まつり、チュールリップフェアも終わり、忙しさもひと段落した今日この頃です。

「庄川温泉郷新聞」では様々な情報を皆様にお伝えしておりますが、年4回発行のためリアルタイムでの情報発信がなかなか難しい状況です。

そのため水記念公園のFacebookでは、庄川温泉郷の様々な情報を頻りに発信しております。検索エンジンで「庄川水記念公園 Facebook」と検索して頂ければ、閲覧できますので是非、ご覧になってください。

また観光アプリ「おもてなしとなみ」も随時更新しておりますので、まだの方は是非ダウンロードをお願いいたします。

